

平成30年度第1回相生市総合教育会議会議録

日 時	平成30年5月21日（月）13時30分から14時45分
会 場	市役所 3階 議員控室
出席者	谷口 芳紀 市長 萩原 喜樹 教育委員長 小西 毅 教育委員長職務代行 栗原 英子 教育委員 西田 香子 教育委員 浅井 昌平 教育長
説明員	越智 俊之 企画総務部長 玉田 直人 教育次長（管理担当） 坂本 浩宣 教育次長（指導担当） 宮崎 義正 管理課長 山本 哲也 学校教育課長 番匠 真由美 生涯学習課長 桑名 正彦 生涯学習課主幹 小西 まこと 体育振興課長 横山 和彦 人権教育推進室長 竹口 智哉 学校教育課学校教育係長（書記） 安岡 僚 管理課企画総務係（書記）
傍聴者	なし

1 開会

2 市長挨拶

近年、子どもたちが被害者となる心痛む事件が多発している。相生市においては将来を担う子どもたちのために、学校、地域、保護者が連携した安全対策を実施いたしており、おかげで大きな事件、事故は発生していない。引き続き皆様とともに安全対策の徹底を図っていきたいと考えている。

一方、市の財政は非常に厳しい状況に変わりはないが、選択と集中により子育て・教育を中心とした相生市の活性化に取り組んでまいりたいと考えている。各委員には、

引き続き教育の充実のため、あらゆる面での尽力、適切な助言を賜ることをお願い申し上げます。

3 協議事項

(1) 相生市の教育に関する重点施策について

ア 平成30年度の重点施策について

管理課長

平成30年度の重点施策については、相生市教育振興基本計画を基本に、平成30年度から推進していく重点施策を、各課から8事業の提出をさせていただきました。

(管理課より機構順に事業概要説明)

管理課	「小・中学校学習環境充実事業」
学校教育課	「プロから学ぶ創造力育成事業」、「運動部活動活性化推進事業」、 「学校園読書活動充実事業」
生涯学習課	「文化会館利活用促進事業」
体育振興課	「ジュニアスポーツ活動の推進」
人権教育推進室	「ケータイ・スマホ教室」、「日本語習得支援員制度」

谷口市長

小学校に外国の生徒は何名いるのか。

人権推進室室長

現在3人である。学年別に1年生に1人、2年生に1人、6年生に1人となっている。

谷口市長

西播通運文庫はどこ幼稚園においているのか。

管理課長

市内公立全幼稚園に設置させて頂いている。

谷口市長

トイレの洋式化はどれくらい進んでいるのか。

管理課長

小中学校とも約45%である。

目標値が30年度末で50%となっているので、ほぼ目標達成見込みとなっている。

栗原委員

資料の幼児教育の充実という所だが、教育と保育の一体化と書いているが具体的にはどういうことを指すのか。

管理課長

検討事項として、今は実現していないが幼稚園と保育所との関連性を検討するということである。

栗原委員

何か具体的なことは始まっているのか。

教育次長（管）

これについては、相生市教育振興基本計画の中に記載されていることであるが、福祉との関係で現段階ではまだ具体的な動きはない。検討課題としてわくわくプランの方に掲載しており、それに合わせて検討事項として掲載させていただいている。

浅井教育長

これも継続的に考え方として持っているものであり、それまで幼稚園の先生を採用する条件は、幼稚園の教諭免許だけでしたが保育士の資格も合わせて必要という風に受験資格を変えていき、幼稚園と保育所とが一体で運営する場合でも教員が対応できるように、という備えで対応を取っているところである。

栗原委員

それでは今は、幼稚園教諭は教員免許と保育士の免許も取っているということか。

浅井教育長

現在すべての職員が持っている。

小西委員

市立幼稚園3歳児保育20周年記念事業とあるが、何か具体的に予定があるのか。

管理課長

スポーツフェスティバルの時に、幼稚園の子どもを一同に会して遊戯を披露させていただく。3歳児保育を始めたのは県下では相生市が一番で、それが20周年を迎えたということで、そういったアナウンスも含めて子どもたちのダンスなどを披露させていただく。なぜスポーツフェスティバルかというと、レクスポなどそういった子ども対象の事業などをトラック以外で行っているが、そういう所に子どもたちを誘致することにもつながり、より対象となるお子さんがレクスポなどに親しめるようにとい

ったような意味も含めて、スポーツフェスティバルの時に実施する形にさせていただいている。

小西委員

もう一つ、プロから学ぶ創造力育成事業で、何か今後の予定はあるのか。

学校教育課長

各学校主体で人選を行っていくという事でこの事業を行っている。今年度は双葉中学校で実施するので、現在候補を選定している。

教育次長（管）

それでは、「協議事項3（1）のア」について、ご了解いただいたということでしょうか。

市長及び教育委員

了解

教育次長（管）

只今いただいたご意見等を尊重し、平成30年度の事業を進めていく。

4 意見交換

教育次長（管）

総合教育会議は市長と教育委員会が、教育に関する諸条件整備や重要施策について協議や意見調整を行っていただく会議となっている。

今後の教育について、まず、教育委員長の相生市の教育に関する所感をお聞かせいただき、次に市長の教育に関する所感をお聞かせいただき、その後、市長と各委員による自由意見交換を行っていただきたいと考えている。

萩原委員長

はじめに、相生市は以前より暮らしやすい街づくりを目指して、「まちづくりは人づくりである」というスローガンのもと子育てに優しい施策に取り組んでいるところである。市長にはとりわけ教育の充実の為、色々な面でご配慮頂いていることを感謝申し上げます。

相生市の教育について。現状についてと今後の相生市の教育について私の思いを述べさせていただきます。

本市の教育の現状について、二点について述べさせていただきます。

幼稚園では本年度平成30年度から、小学校は2年後の平成32年オリンピックの年から、中学校では平成33年度に新学習指導要領が全面実施される。これにより小学校の英語教育においては5・6年生は一層拡充され、3・4年生は新たに必修となる。

幼稚園では本年度から新学習指導要領が実施されているわけだが、小・中学校の現場においては、本格実施に向け移行期間中ということで、指導要領改訂の方向性を現在共通理解を図って準備をしているところである。

これからも新しい教育内容を見据えながら、今まで積み上げてきた実践を大切にしていって、しっかり地に足をつけた取組を展開してほしいと思っている。

また、前回の会議でも述べたが、教育委員会と教育現場との関係は大変良好だと思っている。今後も今まで同様に現場との連携を一層密にしてスムーズな教育実践に取り組んでいきたいと思う。

次に、今後の相生市の教育についてだが、教育環境の充実については、3年前から実施しているJIS規格の机や洋式トイレが先ほども重点施策として出ていたがこの設置については今後とも充実を図っていく。また、さらに豊かな感性を養う読書活動の充実に向けて、今年度からは中学校の図書室の空調工事を行い、ハード面でも学びやすい教育環境を整備していく。

昨年度から本市では、体力の向上を重点課題の一つに挙げているところであるが、本年度新規事業である「運動部活動活性化推進事業」並びに「ジュニアスポーツ活動の推進事業」によって、一層子ども達の体力の向上を図り、少しのことでへこたれないうまくまじさを兼ね備えた子ども達を育てていきたいと考える。各校園の事態に即しながら「心身共にたくましい人づくり」に努めていきたいと思う。

また、本市では以前からALTやFLTの配置を行って、外国語活動について先進的な取組を行ってきている。平成28年度からは「ワンピース・イングリッシュ・AIOI事業」を行い、グローバル化に向けて幼稚園から小・中学校まで一貫性のある取組を行ってきた。

今年度も引き続きこの事業をより一層推進し、外国語の教科化に向けて充実を図っていききたいと思っている。

相生市は子育て応援都市を大きく看板に挙げているが、もう一つ、国際理解教育先進都市というのも挙げて頂いてはどうかと思う。

次に文化活動の推進についてであるが、文化会館なぎさホールの開館以来2年が経過したが、なぎさホールの活用により市民の文化活動の推進を図っていただくようお願いする。開館してからはスプリングカルチャーフェスティバルや郷土作家の作品展など定期的に実施いただいているが、今後も広い世代により多くの市民に来館いただける自主事業についても更なる検討を加えていきたいと思う。

以上、相生市の教育に関する所感とする。

谷口市長

私がまちづくりで非常に大切にしていることは「人づくり」である。

まちの魅力は人あってのものだと強く考える。私が目指す教育の充実を人育てることで人が輝く、そのことが地域の魅力づくりにつながっていく、そのような考えのもと、教育施策を充実させていきたいと考えている。そういった視点から相生市の今後の教育に期待すべき点について学校教育分野と生涯学習分野に共通する私の考えを2つ、今後ご検討いただきたい点を1つ申し上げる。

1点目は、教育委員長からも話があった体力面強化である。子どもたちの状態であるが、学力の位置は非常に良い状態であると認識している。この取組は引き続き継続をよろしく願います。これから社会で子どもたちが大人になり力強く生き抜くため、また生涯にわたっていきいきと社会で活躍するには学力も重要だが、体力面の充実も非常に大切である。そのためには子どものころからしっかりと食事をとり、スポーツを通じ心身共に健全な育成を行うことが必要だと思う。それを実現するため1つにジュニアスポーツ活動の推進、また一つに専門的な知識や経験を持った方の指導の元、部活動を通じて体力や技能はもちろんチームワークや忍耐力を鍛えることが非常に重要だと考える。そのために教育委員会の現場の先生方はもちろん、専門的な知識や技能を持った方の指導を受けながら将来に向けた心身の強化を図っていただきたいと思う。

次に二点目としてこれも委員長から話があった、国際化に対応した教育の充実である。国際化の進展により将来を担う子どもたちにも国際化に対応した教育を受けさせることが我々大人たちの責務であると考え、そのため従来から継続していただいている、「ワンピース・イングリッシュ・AIOI事業」の充実はもちろんのこと、世界を視野に活躍されている方々の感性に子どもたちが触れる機会を作っていただき、幅広い視野を持った子どもたちを育てていきたいと考える。また、国際化を進めるベースには郷土愛があってこそだと思う、子どもたちが相生の伝統文化であるペーロンや、なぎさホールの催しを通して故郷相生に愛着と誇りを持てるよう願うところである。

次に今後ご検討いただきたい項目として子どもたちの学びやすい環境を整備するとして、長期的な課題となると思うが、空調対策などハード面の検討、それから開始から5年を経過した相生っ子学び塾のさらなる充実のための総点検、子どもが安心して登下校できるよう学校、地域が連携をし、見守り活動を通じた安全対策、また子どもの数が減少する中、統合問題についても特に期間を設けず教育的見地から引き続きご検討いただくようお願いする。

今年度のスタートにあたり萩原委員長をはじめ各委員にはこれまでと変わらぬ格段のご協力を賜るようお願い申し上げます。

谷口市長

空調も県下では設置しているところもあるようなので、相生市も早く設置したいと考えるが、結構な額がかかる。

管理課長

近隣では扇風機もない自治体もあるようだ。相生市は早くに扇風機を設置した。

浅井教育長

平成23年度に相生市は全学校に扇風機を設置したが、当時の気温と今とではもう違っている。

当時は扇風機で体感温度が3℃から5℃涼しくなるということでエアコンは必要ないと判断した。

平成23年度の時もエアコンか扇風機か検討したが、エアコンをつけてしまうと教育上かえってマイナスじゃないかという意見もあり、現場の先生も交えて色々検討したが、むしろ扇風機の方が好ましいという意見であった。

谷口市長

クーラーがある部屋はあるのか。

浅井教育長

職員室、保健室、事務室、パソコンルームは付いている。今回は中学校の図書室が追加となっている。

西田委員

暑いときに逃げ場がない。本当に暑い時に体調が悪くなりそうな子は保健室へ行くのか。

学校教育課長

調子の悪くなった子については保健室で養護教諭が対応する。急速製氷機も保健室の方に配置しており、あるいは冷蔵庫、冷凍庫のものを使って手当を行う。保健室にはエアコンも完備されているので、そちらで対応する形になっている。

西田委員

事前に予防策とかはないのか。

萩原委員長

体育の時間や、遊んで帰ってきたときはこまめに水分を摂るように現場では指導している。あと熱中症対策の飲料水なども常備してやっている。

浅井教育長

市民体育館は、全体にエアコン設置は出来ないのですが、その奥一室はエアコンがきく部屋は作っており、いざというときに使えるようになっている。

谷口市長

新潟の事件を見ると、登下校の時、踏切があるのに相生などは必ず踏切があれば誰かが立ってくれているが、新潟は誰も立ってなかった。見守りも毎日では無かったようである。

教育委員次長（指）

見守りの話が出ているが、相生市の場合は学校支援ボランティアということで、登下校にたくさんの方が立って下さっている。

これは恒例的に立って下さっている。すべての箇所をとというわけにはいかないが、子どもたちの安全を守るためにも効果を上げていると思う。また、補導員活動の一環としてたくさんの方々も近くの地域の見守りをしておられるので、ずいぶんフォローができていると思う。また今回のような事件が起きた時には、再度点検をしたり、学校の方も緊急の対応として、再度登下校の様子を確認をしたり、見送りをしたりで対応していきたいと思っている。

谷口市長

スマホ教室は毎年きっちりやったほうがいい。中毒のように触っていたり、自転車に乗っていてもスマホを見ている。本当に危ない。

西田委員

電車に乗っていてもまわりを見るとみんなスマホを触っている。
事務連絡も学校からの連絡もスマホでしている。

栗原委員

小学生も、多く持っているのか。

谷口市長

小学生は学校に持って行っていいのか。

人権教育室長

小・中学校共に持ち込みは出来ないことになっている。所持率が28年度末の結果で、小学生が47%、中学生が51%になっている。また、帰ってから保護者のケータイ・スマホを借りて使っている児童生徒はこちらにはカウントされていないので、そちらを含めると利用率はもっと高いものとなっているかと思う。

谷口市長

約半分の子が持っているということだが、どのような対応をしているのか。

人権教室室長

スマホ教室だが、各小学校5,6年生、中学校3年生を対象に危機回避や、モラル等についての映像を中心にしながら学習する内容を設定している。授業後の感想によると、自分もこれから気を付けていこうという意識が見られる。あと夏休みに行っているケータイ・スマホサミットだが、これについては各小学校6年生、中学校3年生の代表が参加し、自分たちがより安全安心に活用するための方法等について話し合いをしている。昨年度は、市内統一のルールを作成した。今年度はそれをさらに保護者等に広報できるような活動について考えて行きたいと思っている。

教育委員次長（指）

補足すると、先日も双中校区の携帯・スマホ教室が行われた。継続的に行っている中で県立大の学生が映像を作って子どもたちを教えてくれているが、毎年違った内容を入れながら、その年問題になった事例を使いながら、5年生で受けたから聞いている、知っている、ではなく、また6年生で受けるときには新たな情報を教えているということを拝見して、大変効果があると思う。例えば、なりすましによって少女が被害にあうなど、いたずら感覚で投稿したことにより、取り返しのつかない拡散になってしまったことや、また、課金というものがあるが、多くのアイテムを取るためにお金を加算していき、多額の支払いをしないといけなくなるなど、そういった問題事例をうまく取り入れているので、子どもたちには危機意識を持つような、そんな場になっていると思う。

萩原委員長

その問題は非常に大事なことだと思っている。私が現場にいた5年前までは、さほど小学校の段階では持っている子もいなかった。あっという間に増えてきている実態があると思う。学校でも携帯会社へ頼むと無料でそういう指導にきてくれる。そういうものを活用してやったこともあり、保護者には一緒に聞いて今後の子どもの関わりを持ってもらおうというふうにしたこともあるが、参加がほとんどなかった。呼びかけて行事の時に踏み込んでしようとしたが、私たちが思うほど怖いと思っていないのかと思う。繰り返し参加を呼び掛けていく必要があるのではないかと考える。

教育委員次長（管）

今後の相生市教育に関し、貴重なご意見をいただいた。

今回のご意見を踏まえ、事務局として関係部課とも協議を行い検討させていただき、平成31年度以降の取り組みとして、次回この会議の場において協議をお願いしたいと考える。

萩原委員長 閉会の挨拶

平成30年度第1回相生市総合教育会議を終了